

## 第5回大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会議事要旨

日時 2020年2月19日 午後7時から

場所 佃西小学校 多目的室

委員：11名

傍聴者：3名

事務局：（教育委員会事務局教育政策課西淀川区担当）山本部長、横内担当課長、向井担当係長、植田（教育委員会事務局学事課適正配置担当）大川担当課長、松本担当係長（教育委員会事務局初等教育担当）宮辺指導主事

横内：第5回大阪市立佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を始めたいと思います。

本日は委員の皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

まず、本会議については、議事録の作成のため録音させていただいておりますので、ご了承ください。また、配付資料及び議事録については後日ホームページにて公表させていただきます。

傍聴に来ていただいた方々には、入場の際に要綱の写しをお渡ししております。そこにもありますように、会議開催中は静かに傍聴することとし、発言、拍手その他の方法により公然と意見を表明しないこと、並びに写真撮影、録画、録音等は行わないこと、と要綱に定められております。みなさまのご協力をお願いします。今回、第4回を開催した際に、12月くらいに開催出来たらという話でしたが、先日大阪市の予算プレスがありまして、この機会に開催させていただくこととなりました。まず、事務局の自己紹介をさせていただきます。

教育委員会西淀川区担当教育部長兼副区長の山本です。本日の司会進行をさせていただく、西淀川区学校教育支援担当課長の横内です。学校教育支援担当係長の向井です。

大阪市教育委員会事務局学校適正配置担当課長の大川です。担当係長の松本です。初等教育担当指導主事の宮辺です。そのほか、株式会社セリオいきいき事務局の方、学校の教頭先生方が参加していただいております。

それでは第5回の開会にあたり、大阪市西淀川区長の塩屋よりご挨拶を申し上げます。

塩屋：みなさん、こんばんは。西淀川区長兼教育次長の塩屋です。本日は大変寒い中、そしてご多忙の中ご出席いただきましてありがとうございます。第5回目になりますけれども、本当にここまで皆様のご協力とご支援のもとにここまで来たのだと、本当に感慨もひとしおであります。ここまで4回の会議を通じたご審議、ご検討、またさまざまな場所でのお取組みをいただきまして、委員の方々、また委員を取り巻く様々な皆様方心を一つにして、子どもたちのために一つの教育環境を作っていくとし、ここでいろいろな配慮をし、ご提供いただき、できるだけのことをやってきた。そういったことで、今日を迎えているのかなと思っております。また後程ご説明あると思いますが、明日は両小学校の対面式もあると伺っておりまして、その中では佃南小学校と佃西小学校の皆さんが両校の校歌を歌うというようなことも伺っております。話を聞くだけで震えるような感じがいたしまして、

あいにく私は明日会議がございまして参加できなくて本当に残念だなと思っておるのですが、そういう形をきちっと準備していただきまして、みんなが気持ちよくみんなの気持ちを一つにして、統合に向かっていくのだなと改めて確認できるご準備をしていただきまして、重ねて御礼を申し上げたいなと思います。またさまざまご報告、ご意見あるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

横内：それでは、これからの議事の進行は平田会長にお願いいたします。

平田：それではこれから第5回大阪市立佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を開会します。本会議については現時点で11名の参加となっています。委員15名の過半数を超えておりますので、協議会として成立しています。式次第にそって進めてまいります。各課題の整理状況について事務局よりご説明願います。

横内：【統合後の佃西小学校の児童数・クラス数について…資料に沿って1ページを説明】

平田：今いろいろ説明を聞いていただきまして、何か質問等ありますでしょうか。遠慮なく言ってください。では、次の課題に移りたいと思います。

横内：【各課題状況について…資料に沿って別添3まで説明】

平田：はい、今説明がありました。委員さんなにか質問がありましたらお願いします。今日、道路とかガードレールとかここまで進んでいるものをたまたまいただいたのです。白線なんかもできてきているので、また見ていただければと思います。

横内：前段ご指摘のあった、白線の引きなおし、横断歩道ぬり直し、ダイヤモンド等、そういったものは並行して今年度中に進めます。

平田：そういった、しないといけないことは着々と進めていただいております。5回目ということで、多分これで協議会は終わりになるのかなと、なので忌憚のない意見を仰っていただいて、事務局のほうから説明してもらおうということが一番望ましいかなと。あとでどうこう言うのではなくて、今日仰っていただければと思います。

丸尾：今回の統合だけの話ではないのですが、教育委員会の方々も聞いておいていただきたい要望というか気持ちです。1ページを見ていただきまして、うちの子どもは4年生です。4年生が82人です。1クラス39人程度となっていますが、実際は障がいのある子はずっと取り出されているわけではなくて、通常級にいる子もいます。ということは、1人の先生が、39人じゃなくて41人の子どもを見ているのです。その41人の中に障がいのある子も含めて1人の先生が見ているのです。ということは、教室もパンパンですし、いろんな子もいます。必ず取り出されるわけじゃないです。先生の負担を考えたら、この実数から特別支援籍の子を抜くっていうのは、実態に即してないと思います。5年生は84名で1クラス42名もいますよね。自分のお子さんが本当に教育を受ける権利が守られているかなって親が心配になるのは当然だと思いますし、先生に42人の子を一生懸命見てくださってというのは酷なことだと思います。丸つけもして、生活の面も見て、勉強も見て。障がいのある子を抜くっていうのは文科省で決まっているって聞いたこともありますし、今変わっていく途中ですという説明を受けたこともあります。先生も子どもにとってもすごく負担のあることなので、こんな場でしか意見は言えないので、できるだけ改善してほしいという気持ちでいます。以上です。

平田：今すぐ改善していくというのは難しいわけですね。

丸尾：教育委員会からの返答は、なくていいです。意見を申し上げたということです。

塩屋：重要なお指摘かと思いますが、こういったご意見をこの場で改めてお伺いいたしました。

菅野：統合しますけど、先生の増員はあるのですか。

北山：そうですね。学級数が増えます。支援学級も通常学級も増えますので、その部分の人数の増員はあります。また区役所のほうから、年間 1200 時間いただいておりますし、そういった意味では、統合に関して支援はいただいておりますので。

菅野：佃南の先生が佃西の先生になることはないのですか。

松井：二人で一緒にヒアリングも行ってきましたが、佃西の人事の受け入れの状況と、本校の教員の人事希望との兼ね合いになります。佃南小の先生は、この統合をもって一旦全部リセットで転勤の形になるのです。佃西へ転勤となると、うちで 10 年働いた先生が佃西でまた 10 年という可能性もあります。全市的な人事の異動の問題とも絡みますので、本校の先生が例えば異動を希望するエリアを選択して、そこに西淀川区が含まれているのであれば、佃西に転勤となる可能性もあります。この間、結婚や転居を伴って非常に通勤が遠くなっている教員が多いです。彼らにどうしても佃西に行ってくれというのは、彼らの選択もありますので、できるだけということは申し上げております。それと、産休育休に入っている職員がおりまして、その者たちは自動的に佃西に異動となります。ただ 4 月 1 日で復帰にはなりませんので、今現在代わりに入ってくれている講師の皆さんが佃西でも働けるようにと、人事ヒアリングでは希望を伝えました。1 人はベテランの女性で、1 人は元気いっばいの男性ですので、通勤も比較的近いですし、ご本人たちも行くことができるなら行っても大丈夫という返事をしてきています。ですので、まったく繋がらないわけではなく、佃南の児童も佃西で何人か知っている先生がいる、という状態になると思います。

平田：ということは、先生方でできる範囲の形はしていただいているということですね。本人さんの働く自由もありましょうし、教育委員会の考え方もありましょうし、そういった中で進んでいくということですね。でも産休・育休に入っている先生方は確実に佃西のほうに来ていただけるということですね。

阿南：通学路の見守りのことですが、佃南校区で 4 人おりますが、体調の悪い方がおり、今 3 名です。最低 4 名の見守り隊が必要ですが、3 名になってしまっています。この通学路は佃大通の北側を通行するということなのですが、4 丁目のところのマンションのところからは、まっすぐバス通りに出てきて行くことになるのでしょうか。今通っている子は、まっすぐ行って阪神に突き当たって左へ行っていると思う。それで、この佃南から出てきた信号のところには立っていますが、ローズマンションも含めて、12 名の児童が渡ってくる。我々見守り隊から言えば、ローソンのところが、横内課長も、一番危ないと言われている。

横内：橋を超えて大型車が行き来しています。

阿南：見守り隊としては、これから先人数が増えないことには、全部つけない。我々もいろいろな用事があるって来られないこともあります。だから佃 5 丁目 4 番地のあたり、あの子どもたちも一度西のほうに出てきて、そこは真ん中が空き地になっていますけど、あそこは全部私道です。今度また家が建つみたいです。そうするとまた工場側を回って来なくてはいけない。そうすることもあれば通りのところにいる子はそのままいけます。その子どもたちは今行っている状態で、その子どもたちもこっちへ回ってくるのか。ローソンのところは危ないかもしれないけど。そうしていただけるのであれば、このローソンところに、南と北に立って誘導していくと。そうすると北側に出てくるのは佃南小学校から出てくるので渡らなくてそのまま行きますよね。そうするとここではこっちの子どもが全部くれば、我々も北に立てばそれなりにできると思う。学校選択制でマイシティから佃西に通っておられる子どもさん方は、自転車等で送ってもらっている状況もあるように聞いていますが、今もそうなの

かはわかりませんが、本当にバス通りを全児童が通るのか。

横内：基本的に佃西小で保護者あてに通学路の周知をしております。立ち番がどこに立つかという問題を含め、保護者・学校と、地域の方とが話し合っていて考えていただきたいと思います。通学路はこのように決まりましたので。

阿南：それは確実にやってもらわないと、父兄の方がもしこの裏通りに行くことがあれば、事故があつては困りますので。今までよりも児童数増えますので、保育所のお母さん方が自転車で逆走してくると、危ない。そのあたりも加味して、保育所のほうにも、私も言えれば言いますが、役所のほうからも、児童数が増えますので、お母さま方に気を付けていただきたいと伝えてほしい。子どもの安全を考えたらそういうことで、よろしく願います。

平田：見守り隊ということですが、明後日佃地域の活動協議会がありますので、私のほうで議題に入れて、各町会のほうで選んで選出していただいて、手伝ってもらえるようお願いをしようと考えているところでもあります。今ここで絶対にという約束はできませんけれど、町をあげ、佃全体でそういった形の協力要請は惜しまないので、またよい報告ができればなと思っています。

井上：佃西小学校はPTAが順番に立ってくれていますよね。佃南さん今は立っていますか。

丸尾：今は止まっています。止まっているというのは、家庭数が少なすぎて立てる状況ではないのと、学校のすぐ隣のマンションの子がほとんどなので、そこ以外の場所に立つという状況ではなかったのです。

井上：立つ必要がなかったのですか。

内田：必要じゃなかったわけではない。

井上：今後佃南小学校がこっちに来た場合、佃南小学校のPTAさんは佃西の地域にも立つことになる。

内田：もちろん。佃西のPTAの方が一人も来られてなくてお話できないのが残念なのですが、最初のPTAの話合いで、そういうことをするってきちんとお話しています。立ち番の話は、佃西のPTAがこのように考えてほしいって言われるならこちらも考えますが、そういう話も全く来ないということもあって、こちらからどうさせてもらったらいいのかな、と思っています。

中本：早急にしないといけないね。校長先生からPTAに言ってもらって。

内田：こちらとしてはいつでも行きますので、佃西のPTAのほうに。

井上：見守り隊のことも含めてね、結構もう年の者ばかりです。若い人は仕事でね、60代くらいのひとで、その人が行ってくれば、21日にまた地域で話をしてくれればと思いますので。

内田：もちろん4月になれば佃南の子どもたちが佃西に通い始めるので、その時に佃西の保護者の方々がどういう形で立っていらっしゃるのかも分からないし、佃南は4月から入る形なので、前もって言うただければ、佃南の保護者にも何日にここに立ち当番してくださいとお伝えすることはできるのはできます。そういうことが佃西から何もないので、待つしかないのか、現佃西の保護者の方々が立っていただけるのか、その辺を聞きたいと思うので、人数が足りないというのであればもちろん、現佃南で立ってもらっている方に声掛けはできますので。

平田：一回ね、もうあと1か月ちょっとになってきましたので、佃地域活動協議会としても、見守り隊の人にチョッキとか帽子とか旗とか渡さないといけないので、一回井上さんがいってくれていたように活動協議会が中心になってPTAさん集まってくれるのかなとかそれからそこらに集まっている地域の会長さんも参加してくれないかなとかを一回やってみたいと思っています。そういう話を、時間はいつからいつまでとか、交代制になるのかなとか、いろんなことを話できればと思い

ます。

横内：区役所のほうも柵の設置の話もありますし、先ほど申し上げました通り、キャンペーン的に新しい通学路になりますのでみんなで気を付けていこうねというような流れから、柵はこうしましょう、立ち番はこうしましょうとか。また4月に入りましたら交通安全週間がありますので、そこは一緒にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

平田：今日も横内課長と通学路のしるしがあるのではないのかという話をしたところですが、これから勉強してもらいながら、けがなどないように通学できるように地域としても全力を挙げていかないと思っておりますので、見守ってくれる方を探していきたいなと思います。

中本：3月4月になったら春の交通安全運動もあるから、警察のほうにも働きかけてもらって、地域のほうからでも、学校からも働きかけてもらって、立ってもらうのがいいのではないのでしょうか。

内田：4月に入ってすぐの交通安全週間だと思うのですが、佃西さんがどのような形で保護者の配置するのか全く聞いていないので、このままだと、佃南の人はやらなくていいという風になってしまうと思う。

松井：マイシティから学校選択制で佃西へ通っている子どもの保護者が立っておられるという姿は見ない。今は校区外からくる子の通学の安全の確保は親の責任ということで、車や自転車に乗せて行っているという実態があるようだけど、西のPTAさんでルールをもう一回再編してもらわないと。佃南の保護者は必然的に西のPTAの会員になるわけで、そのルールにのっとってやることになると思う。

北山：佃西のほうのPTAの実行委員会は2月5日午前10時から行いまして、その時に地域交通の方から、佃南小学校の皆さんの名簿をいただけないかという依頼がありました。人数や立つ場所も含めて、3月4日の夜7時からまた実行委員会がありますので、そこで煮詰めていきたいなとおもっております。3月中には具体的な場所であるとか、日程であるとか、見守り隊の表を作成したいなと思います。

丸尾：名簿って今の段階で佃南の保護者が了承していないのに渡されるものなのですか。

北山：もちろんそれは無理ですが、準備を進めていますので、PTAの決算総会であるとか予算総会、そういう時を利用して、早くできるかなとは思っています。また地域の見守り隊の会の方との調整もあると思いますので。今ちょっと名簿という風に言いましたけれども、実際に名前までは渡していません。

丸尾：そうですね。個人情報取得の了承も何も来ていないのでびっくりしました。

内田：3月4日に実行委員会があるということは、その時にある程度決めるのでしょうか。実行委員会やお互いのPTA同士の話し合いを早い段階で開かないといけないのかなと思います。

平田：登下校の件は、PTAさんと地域の団体との協議でお互いに知り合いながら、していくということでよろしいでしょうか。では、登下校の件はそういうことで、他なにかございませんか。

横内：それでは最後になりますが、これからというところを説明いたします。

【資料に沿って説明】

平田：今お話がありましたように、これから統合協議会がなくなっても、問題が起こった場合は、佃西小学校の学校協議会で、いろいろ話をして、解決をしていきたいと思います。他ありませんか。

内田：佃西小学校の学校協議会に、佃南小の方が入る…というのはどういうことですか？

横内：協議会の委員募集がありますので…。

平田：委員募集があるんでしょ、4月に。

【訂正：学校協議会委員は公募しておりません。4月に限らず年間を通じて手続きは行われており、学  
校長及び区長が大阪市教育長へ推薦した者を大阪市教育委員会が任命します。】

塩屋：所定の手続きがありますので、きちんと規則に則り、手続きを踏んでまいります。今僭越な話で  
ありました。

横内：申し訳ありません。

平田：学校協議会の委員は、学校と役所で決めているのですか。

塩屋：校長先生からの推薦を頂戴して、区で調整させていただいて、教育委員会に挙げていきます。

平田：というようなことなので、今までのように西の人だけで固めますとかはないと思いますので。

内田：一応私たちも統廃合に2年間かかわって、はいこれで終わりですというのは…。私自身子どもが  
中学校に上がって佃西に行くことがないので。佃南小学校の子どもたちや保護者が西に行かれて  
からの様子は全くわからないので、来年度もどんな感じか知りたいなと思ひまして。

平田：一番いいのは地域活動協議会の役員になっていただいたら、いろんなことがわかると思います。  
大事なことだと思います。新しい担当部署を作ってもいいですから。他何かありませんか。

横内：両校にご意見箱を設置し、何度か前向きなご意見をいただいていたのですが、明日以降は、取ら  
せていただくということと、3月の広報紙に改めて、佃西小学校と統合しますというご紹介をさせて  
いただこうと思います。

平田：皆さんご存じだとは思いますが、来年度佃南小学校はとりあえず1年間防災の拠点として避難所  
になりますので、心配なくいけるかと思ひます。何か他にないようでしたら、皆さんのご協力を得て、  
第5回の統合協議会が終わろうとしています。一層皆さん方のご理解ご協力を賜りまして、佃南小学  
校と佃西小学校は一体となった形で、子どもたちが元気な姿で生活ができ、学校に行けるような形を  
我々統合協議会一同願っておるところでございます。佃地域活動協議会におきましても、全面的な協  
力を得まして、佃地域が一つというような動き方をしていきたいと思ひしておりますので、さらなるご  
理解ご協力のほどをお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども5回目の、これで統合協議  
会を終了とさせていただきたいなと思ひます。本当に皆さんありがとうございました。